

取付・取扱要領書 シュロス プロフィシート

2021.01発行
パートNo. EA13.6

すべての警告、指示を読み、それに従うようにしてください。本書の内容について質問がある場合は、弊社までご連絡ください。



DANGER

妊娠中/授乳中の接触は避けてください。
保護めがねと手袋を使用してください。万一に備えて
換気が不十分な場合は、呼吸用保護具を着用してください。

詳細については、安全データシートを参照してください



WAIVER

本製品は、明示の有無を問わず、保証なしで販売しています。全ての怪我や死亡からユーザーを保護することは出来かねるため一切の保証は行いません。ユーザーはそのリスクを承知しているものとします。本製品の有効性、保証、取付け、使用、寿命および保守はユーザー責任となりますご了承ください。重大な傷害または死亡から保護する能力に関して保証いたしません。レースはSCHROTHの制御が及ばない状況が原因である可能性があります。レースは危険です!ユーザー自身がリスクを負います。

警告と各種情報



DANGER

回避しないと死亡または重症につながる可能性があります。



WARNING

回避しないと死亡または死亡につながる可能性のある危険な状況を示します。



CAUTION

回避しないと軽微なまたは中程度の怪我の原因となります。



NOTICE

身体的傷害に関係のない慣行に対処するために使用されます。



SAFETY INSTRUCTIONS

Schroth Racing profi Seatを適切かつ効果的に使用する為の作成・取り付け・使用および維持に役立つ重要なヒントが含まれています。

準備・タイミング・温度

本書には安全データシートが含まれています。

準備と時間

シートを作成する前に、次のことを確認準備から完成するまでに最低2時間は必要です。この時間が確保できない場合は、満足な結果が得られません。十分な準備と時間を確保してください。



SAFETY INSTRUCTIONS

キットを受け取って開封する際は、内容が正しく、損傷がないことを確認してください。クイックキュアレジンに湿気から保護します。5°C未満の温度で保管しないでください。15°Cから25°Cが最も好ましい保管温度です。



SAFETY INSTRUCTIONS

車と座席エリア内の全ての縁の尖った箇所や鋭利な物をテープで留めるなどして覆います。これにより、シートフィット中にバッグに穴が開いたり損傷したりすることがなくなります。

希望の着座位置からすべてのレーシングベルトを取り外します。ペダルとステアリングホイールがドライバーに合わせて調整されていることを確認してください。ドライバーが通常のレーススーツ、FHRデバイス、ブーツ、レーシングヘルメットを装備していることを確認してくださいシートフィッティング。作業前に巻尺、マーカーペン、ストップウォッチをご用意ください。

作業エリアと環境温度

本製品の作業をスムーズに行うため、作業台および車の周辺に十分なスペースを確保してください。また、樹脂を使用するため屋外または換気の良い場所を選んでください。

作業時にはコンビネーションフィルターA-P2または工業用マスクの使用をお勧めします。本製品付属の樹脂は低温では反応しにくいいため、注入時はより高い温度を保持する環境で行ってください。

推奨される周囲温度範囲は15°Cから25°Cです。

ドライフィット(レジン/水不要)

レジンと水を使用する前に、ドライフィットを実行することが重要です。これはドライバーがドライの状態でのシートの感触に慣れており、ピースの配置と量を正しく判断できます。平らで滑らかな作業台にバッグを置き、ピースを全体に均等に広げます。角を引っ張ってバッグを軽く伸ばし、折り目がないことを確認します。本製品のエア抜きを適用する前に、フォームフィルターと赤いOリングを確認してください。Oリングはバルブに取付けられています。真空源(クリーナーなどの吸引機は本製品に含まれていません)とホースが取り付けられているバルブ(バルブを開くには、黒いタップを押したまま、タップの後ろにあるボタンを押します)を実施します。バッグが「オレンジピール」効果を発揮し始め、バッグがかなり硬くなるまで真空にします。これにより、コックピットに取付けたときにバッグがその形状を保持することになります。



CAUTION

シートキットに空気を入れたり、シートキットから空気を抜いたりするために直接口で行わないでください。バッグには小さな部品が含まれていますそれは飲み込まれる可能性があります。部品を吸入/飲み込むと、窒息または窒息の恐れがあります。



SAFETY INSTRUCTIONS

ドライフィットと最終の取り付けの間、ペダルとステアリングホイールはドライバーの最良の位置とし、該当する場合はヘルメット、FHRデバイス、レーシングオーバーオール、ブーツを着用する必要があります。

バッグをコックピットまたはシートシェルに取り付け、バッグを所定の位置にしっかりと押し込み、ゆっくりと空気を抜いていきます。黒いバルブをバッグ上部に位置させることで、簡単なアクセスで真空を調整するためことが可能です。真空状態を最適化するため、バルブはピースが存在する位置に配置してください。そうでない場合、吸引時にバッグがうまく吸い込まれません。バッグがズレないように注意しながら、ドライバーをシートに座らせませす。ドライバーはここで、ピースを移動させることにより、目的の形状になるよう整えます。この過程を補助するために、バルブを都度、解放してバッグ内に空気を入れることも必要です。この段階で、ドライバーが目的の形状にできなかった場合は、バッグ内のピース量が多すぎるため減らす必要があります。ピースの量を減らすには、バッグをコックピットから一度取り外す必要があります。タップを外したら、ゆっくりとピースを抜いてください。何リットルのピースを取り除いたかを記録してください。後で樹脂を混合するときにバッグ内のピース量を把握しておく必要があります。



WARNING

重大な人身傷害または死亡のリスク。スポーツおよびチャンピオンシップ規則に定義されているように、ドライバーのヘルメットはロールフープ(オープンコックピットカー)の下にある必要があります。フォーミュラカーは高さに注意してください。最低限の高さについて、現在の規則を参照してください。ロールフープの下に正しくドライバーが座っていないと、重大な人身傷害または死亡につながる可能性があります。

この段階でかなりの時間をかける必要がありますが、量を変え、バッグの中のピースを動かすだけで、ドライバーは最適な座席ポジションを実現できるようになります。



WARNING

重大な人身傷害または死亡のリスク。ステアリングホイールは、自由に動かせる必要があります。ドライバーの脚がステアリングホイールの操作を妨げたりしないことを確認しながら、取り付けに注意を払う必要があります。また、ドライバーの腰と肩は水平で中央にあるよう注意してください。ステアリングホイールのクリアランスやドライバーシートの高さおよび中央をチェックしないと、車両を適切に操縦できなくなる可能性があります。

真空の度合いをわずかに調整することで、バッグを固くする、もしくは柔らかくすることができ、それによってドライバーが動き回れるようになり、サポートが必要な場所にピースを配置できます。

そうすることで、横方向のサポートが必要になるであろう箇所のバッグの成形の際に、ドライバーが手助けをしてもらいやすくします。ドライバーが希望の着座ポジションになったら、バッグを真空状態にして、シートインサートの形状を維持します。次に、ドライバーは慎重にコックピットから抜け出します。この段階で、油性マーカーで印をつけると楽に作業できます。バッグにピースのさまざまな厚さを測定して、背中、腰椎、脚をマーキングしてください。また、ドライバーやコックピット環境に関連したサポートエリアをマーキングすると、レジンを使った後も、最初のバッグのレイアウトを再現するのに役立ちます。

クイックキュア・レジンとは

この新開発の速硬化性樹脂は、どの温度でもインサートを作ることができます。5°Cを超えれば周囲温度に関係なく、非常に早く硬化します。(推奨処理温度は15°Cから25°C)水は「活性剤」であり、他の樹脂よりもシンプルで取り扱いが楽です。素早く作業するためには、クイックキュアレジンの場合、予熱した水(30°C~40°C)を使用します。

稼働時間については表2をご覧ください。

レジン混合割合

これでドライフィットが完了です。必要なピースの数が分かったら、シートを作るために、樹脂と水の混合割合を割り出してください。

表1: ピース/レジン/水の混合割合

ピース量 (リットル)	レジン量 (リットル)	水の量 (ミリリットル)
25	0.7	100
30	0.8	100
40	1.0	150
50	1.3	150
70	1.7	300

最終取付け



NOTICE

余った樹脂は水路に捨てないでください。



CAUTION

レジンと水を準備し、混ぜ合わせるなど取り扱いの際は、保護めがね、手袋、マスクを使用してください。適切な換気を行ってください。保護クラスA-P2のマスクまたは自給式呼吸器を着用してください。樹脂を飲んだり摂取したりしないでください。硬化中は、樹脂の近くやシートの近くで直火を使用したり火花を避けてください。保護具を使用しないと、目の怪我、炎症、その他の身体的な原因となります。

表2

作業時間	ビーズや樹脂に水を混ぜてから20~25分後。
硬化時間	作業時間+10分 = 35分：シートインサートは硬化し、ビーズと水を混ぜてから35分で切る準備ができています。
注意:	ストップウォッチを使用し、20~25分後にドライバーが動かないようにしてください。完全に硬化するまでシートインサートに亀裂が入らないようにするためです。この過程で真空を維持する必要があります。



SAFETY INSTRUCTIONS

付属の測定容器を使用してレジンと水の量を調整してください。完成したシートに影響する為、それぞれ正しい量になるように注意してください。

ステップ1:最初に正しい量の樹脂のみをバッグに注ぎます。水なしの状態では樹脂は不活性であり、これによりビーズと樹脂を完全に混合して、良好な被覆率を得ることができます。バッグの黒いタップを開けます。付属の漏斗を使用して、樹脂を注ぎます。作業中は、上記のすべての保護具を着用してください。

注意:この段階でバッグに過度のストレスをかけないでください。開口部はビーズの上で中央に位置するようにしてください。漏斗を挿入し、レジンとビーズに注ぎます。バッグの内側にレジンが流れ落ちないようにしてください。すべての樹脂の注入が終わったら、黒いタップを再度取り付けます。そこから樹脂とビーズの混合が開始されます。

重要:ビーズと樹脂の混合が終わるまで約5分かかります。こねながら混合し、バッグに行き渡らせます。[水不要]

ステップ2:ここからストップウォッチで計測してください。硬化するまで約25分かかります。硬化後の修正はできません。

ステップ3:黒いタップを外し、水を注ぎます。再びタップを付けて、レジンを覆われたビーズと水を混ぜます。長い時間をかけず、最大1~2分で素早く混ぜます。ビーズが「ゆるい感じ」に変わるのを感じるでしょう。タップベースはしっかりバッグに接着してください。タップの抜き差しの際は、無理な力を加えないでください。ビーズをドライフィットと同じ位置に戻します。この際、マーキングに合わせるとドライフィット時と同じ形状にやすくなります。その後、真空状態にしてください。



CAUTION

最終的な取り付け段階では、ペダルとステアリングホイールをドライバーの最良の位置に合わせます。該当する場合はヘルメット、FHRデバイス、レーシングオーバーオール、ブーツを着用する必要があります。バッグから折り目を取り除くように注意する必要があります。そうしないと、完成したシートにひびや亀裂を残します。最後に真空にする際に、真空になったシートは希望の形状を保持しますが、真空度が高すぎないようにしないとシートが収縮または変形します。

最終的なフィットはドライフィットと同様です。(1~3ページ参照)ただし、固体の製品を作るためにビーズがレジンと水と混ざっている点が異なります。

ドライフィットの際に、バッグに付けたマーキングや寸法を使って、ビーズを広げて各場所の必要な厚みを再現します。

混合物はドライフィットの時の真空状態と異なる動きをする為、この段階で真空を調整するときは、注意が必要です。



WARNING

ステアリングホイールはロックツーロックで自由に動けるようにしなければなりません。ドライバーの脚がステアリングホイールの操作を妨げたりしないことを確認しながら、取り付けに注意を払う必要があります。また、ドライバーの腰と肩は水平で中央にあるよう注意してください。ステアリングホイールのクリアランスやドライバーシートの高さおよび中央をチェックしないと、車両を適切に操縦できなくなる可能性があります。

運転手にとって最適な最終ポジションを達成するためには、複数の人で作業を行う必要があります。作業時間は約25分しかありません。この段階でドライバーはシート内でビーズを必要な箇所に移動させる必要があります。バッグはこの目的のために非常に頑丈で伸縮性のあるものですが、過度なストレスをかけないでください。

高品質の完成品にするには、ドライバーと接する面からできるだけ多くのしわを取り除くことが重要です。

バッグにしわや折り目があると亀裂が入り、シートが弱くなる可能性があります。しわや折り目をなくすることで、ビーズをレジンや水としっかり混ぜることができます。念入りにビーズを捏ね、動かすこともこのプロセスに役立ちます。ドライバーがシートと形状に完全に満足している場合のみ、シートインサートのバッグを真空にし、ドライバーは希望の位置を維持します。バッグからすべての空気が除去されたら、ドライバーは25分の作業時間が終了するまでその位置に留まる必要があります。独自の樹脂混合により、一定量の「ガス」が発生するため、形状を維持するために、このプロセス中に再度真空にする必要があります。時間を測り続け、樹脂を充填したシートで作業していた時間を常にドライバーに知らせてください。シートが硬くなり固まるまでに25分かかります。

重要な注意:当社独自の樹脂と水の混合物は、温度にあまり敏感ではありません。混合物は、温度に関係なくほぼ同じ速度で硬化します。したがって、混合比と時間は守るように注意してください。



NOTICE

バッグとドライバーは、少なくとも約25分の硬化期間の間そのままにしておきます。

シート仕上げ

ビーズと樹脂の混合物は、シートが最終的な形に整えられる前に、水と混ぜてから35分後にシートを扱うのに十分な硬さになります。

シートが硬化したら、慎重に取り外してください。あらかじめ、硬化したシートを取り外す最良の方法を検討しておいてください。



CAUTION

どんなナイフでも扱うときは細心の注意が必要です。完成した座席を整えるときは、保護手袋および保護めがねを必ず着用してください。ホットナイフを使用する場合はマスクも必要です。



SAFETY INSTRUCTIONS

シートのトリミングと仕上げを行う際には、ドライバーと共に居てフィードバックを受けるべきです。シートにカバーをする前に、ドライバーはコースでシートを試すことをお勧めします。そうすることで調整や追加の切り取りが必要になる場合があります。

バッグの余分な部分を切り取り、余分な材料をトリミングしてゆとりを確保すると、今後のシートの取り付け/取り外しを容易にします。完璧なトリミングには、ホットナイフとサンディングブロックの使用をお勧めします。マスク（呼吸の保護具）と目の保護具の使用が必要です。ラップベルトとショルダーベルト、クロッチベルトのストラップ、FHR装置、ヘッドレストについてはトリミングする際にゆとりを持たせる必要があります。



WARNING

火災による重傷または死亡の危険性。座席を覆うときは、まず選権規定を参照してください。難燃性カバーを推奨しています。正しいカバーで座席を覆うことができない場合、重大な人身事故または死亡につながる可能性があります。

仕上がったシートインサートは、お好みのカバーで被覆できます。完成したプロフィシートを難燃性のカバーで覆うことをお勧めします。カバーの取り付けには、無溶剤の接着剤のみを使用してください。

シュロスでは、予告なしに本商品の技術面での変更または商品開発を行う場合がありますので、予めご了承ください。

SCHROTH Safety Products 正規輸入代理店
株式会社タニダ 名古屋市昭和区鶴舞2-3-17 TEL.(052)871-3741
<http://www.tanida-web.co.jp>

REGISTERED TRADEMARKS:
SCHROTH® is an international registered trademark of SCHROTH Safety Products GmbH, Germany.

COPYRIGHTS:
The copyrights of this "Installation and Operating Instructions" are property of SCHROTH Safety Products GmbH, Germany.
Copyrights of this in part or in whole, on paper, on film or electronically is allowed only after written permission by SCHROTH Safety Products GmbH, Germany.

© 2007-2021, SCHROTH Safety Products GmbH, Arnsberg, Germany. © 2021, TANIDA co.,Ltd.